

## 100年の歴史で培った信頼をもとに 次の100年へ

おかげをもちまして、京阪電気鉄道は平成22年4月15日に開業100周年を迎えました。その100年を振り返ってみますと、明治43(1910)年に大阪・天満橋と京都・五条を結ぶ路線として開業して以来、宇治線開通、三条駅までの延伸と順調に事業が進展する一方で、昭和初期の大恐慌による経営の悪化、戦時下での阪神急行電鉄との合併、戦後の分離・新発足と、その道のりは平坦ではなかったと改めて感じます。

社会情勢の大きな変化や災害などの危機を乗り越え、会社として100年間存続でき、かつ鉄道事業を中心とする企業グループとしてここまで成長できたのは、沿線の皆さまをはじめとしたお客さま、株主、取引先など当社をとりまくすべてのステークホルダーの皆さまのご支援の賜物にほかなりません。京阪グループでは、そのご愛顧に感謝するとともに、次の100年に向けて多彩な開業100周年記念事業を行っています。京阪電車と京阪バスを乗り継いでご乗車していただいたお客さまの運賃から一部を京阪グループが積み立て、沿線自治体の緑化活動を通じて、社会に還元するという「鉄道・バス乗り継ぎエコ・キャンペーン」に代表されるように、「環境保全」「社会貢献」「地域との共生」をテーマに展開しています。

近年においても、世界的な金融不安に端を発した景気低迷という厳しい経営環境下にあります。しかしながら、100年の歴史で培ってきた有形無形の経営資産、そしてお客さまからの信頼をもとに、京阪グループは前を向いて力強く次の100年に進んでいきたいと考えています。

## 安全で環境に配慮した鉄道事業を通じて 社会に貢献していく

当社が今後200年、300年と継続していくためには、鉄道を「安全」に保ち、環境にやさしい鉄道をより多くのお客さまにご利用いただくこと、そして事業を通じて社会に貢献することが重要だと考えています。そのための根幹として、京阪グループではCSR経営を推進しています。

鉄道の安全に対する取り組みは、マネジメント体制の整備・運用状況ともに常にレベルアップを目指して進化させています。平成21年9月に国土交通省による3回目の「運輸安全マネジメント評価」を受けた結果、当社については「適切な安全管理体制が構築されていることが確認できたので、今回は1年間隔を空けて、2年後に実施する」との通知を受けました。このような評価は、当社の安全への取り組みが高く評価されたものと考えていますが、その評価におごることなく「更なる安全性の向上」を図ることが、経営トップとしての重要課題です。社員一人ひとりに安全文化の構築と定

着を図り、安全性をスパイラルアップする取り組みを一層推進していきます。

環境保全については、当社において最大の環境負荷である鉄道用電力を削減するプロジェクトを平成15年度から立ち上げ、多岐にわたる対策を実施してきました。その結果、昨年度は省エネルギー車両の運用拡大などで削減目標を達成するなど、着実に成果をあげています。さらに、地下線において換気状況を確認したうえで、<sup>すいどう</sup>隧道用換気機の運転スケジュールを必要最低限まで引き下げるなど新たな取り組みも実施し、より高い目標を設定して、地球環境への貢献に取り組んでいます。また、環境にやさしい鉄道の利用を促進していくために、他社との連携による鉄道ネットワーク全体の利便性向上、行政機関と連携したパーク&ライド、サイクル&ライドなどにも積極的に取り組んでいます。

お客さま満足の向上の取り組みでは、「お客さまセンター」などでいただいたご意見・ご要望にお応えする改善を随時実施しています。昨年度も、車掌が業務用携帯電話を携帯することで、ダイヤの乱れなどの情報を迅速に、かつ正確にお客さまに提供するシステムを導入するなどのサービス向上に取り組まれました。こうしたお客さまサービスの向上を核としながら、沿線の皆さまをはじめとした社会に貢献できるCSR活動に、今後も真摯に取り組んでいきます。

## 数々の受賞を励みに、 “選ばれる京阪”の実現を目指します

平成21年度は、当社に対してさまざまな賞が授与された1年でもありました。

平成20年10月19日に開業した中之島線では、開業にあわせて営業運転を開始した3000系車両が2009年度「ローレル賞」(主催:鉄道友の会)を、3000系車両および中之島線4駅が「グッドデザイン賞」(主催:財団法人日本産業デザイン振興会)を受賞しました。

また、なにわ橋駅地下1階コンコース「アートエリアB1」で展開している地域と連携した文化活動が、社団法人企業メセナ協議会が主催する「メセナアワード2009 文化庁長官賞」を受賞しました。さらに、グループ会社では、琵琶湖汽船の「megumi」がその年の最も優れた新造船船に与えられる日本船舶海洋工学会の「シップ・オブ・ザ・イヤー2008」を受賞しています。

京阪グループは、平成18年にグループの将来像として「“選ばれる京阪”への挑戦」を掲げ、中之島、京都を重点エリアとした京阪エリアの魅力向上に取り組んできました。今回いただいた賞は、それらの取り組みが時代のニーズにあった新しく魅力的なものとして外部から高く評価された証であり、とてもうれしく思います。これを励みとして、「京阪でいい」ではなく、「京阪がいい」と言っていただけのような、お客さまから選ばれる価値ある企業グループとなるよう、グループが一丸となって“選ばれる京阪”のビジョン実現を目指していきます。